

国保税引き下げと 減免制度改善を

国保署名にご協力を

“不況と雇用の不安”の中、暮らしを守る方策を

日本共産党市議団は、昨年来の“不況と雇用の不安”の中で、暮らしを守る方策の検討をすすめてきました。中核市(人口30万市)の国民健康保険税の状況や病院窓口での減免制度を改めて調査した結果、鹿児島市の「制度のおくれ」が明らかになりました。市議団は、鹿児島市の国保の制度改善にむけて「国保署名」にとりくむことにしました。多くの団体や個人の方々と協力・共同して大きな運動にしていきたいと考えています。



08年11月21日「無保険の子」救済など、保険証取り上げなどの中止を求める緊急要望書を市長へ提出(副市長が対応)

国保税滞納で保険証とりあげ

「子どもの無保険状態」を改善!

平山たかし議員が12月議会で、緊急質問 ...2008年12月19日市議会

国保税を滞納すると医療費が全額負担となる資格証明書が発行されます。鹿児島市でも、中学生以下の子どもがいる世帯に資格証明書が発行されていることが明らかになり、党市議団の個人質疑の中でも明らかにさせてきました。

このような子どもたちはケガをした時や病気になった時に、窓口で病院代を全額支払わなければなりません。このため受診をためらったりする状況になります。また市独自の乳幼児医療費助成制度も受けることができません。「無保険のまま年の瀬を迎えさせてはならない」との立場で、平山たかし議員が緊急質問を行い、市長は「対象者に短期保険証を早急に交付するよう担当部局に指示した」と答弁し、改善されました。



景気悪化の中で県民・市民の雇用と暮らしを守れ!と訴えています。

生活相談のご案内

議会日程がありますので
事前にご連絡ください

- とき 毎週月曜日午後1時より
- ところ 市役所日本共産党控室
(別館3階)

電話 **216-1440**
FAX **225-5607**

平山
たかし
市議



山下
ひとみ
市議



大園
たつや
市議



日本共産党鹿児島市議団

<http://www5.synapse.ne.jp/jcp-shigidan/>

鹿児島市議団ニュース

2009年1月24日 NO..80

発行/日本共産党鹿児島市議団鹿児島市山下町11-1
TEL: 216-1440 FAX: 225-5607
E-mail: kyousan@kagoshimashigikai.com